

みんなをめざす 白山市の未来

白山市 SDGs 未来都市計画アクションプラン



白山の未来がどうなるといいか考えよう！

- 02 みんなで目指す持続可能な白山市
 - 04 白山 SDGs 未来都市計画ってなに？
 - 06 白山市が未来都市計画に向かう上での課題
-

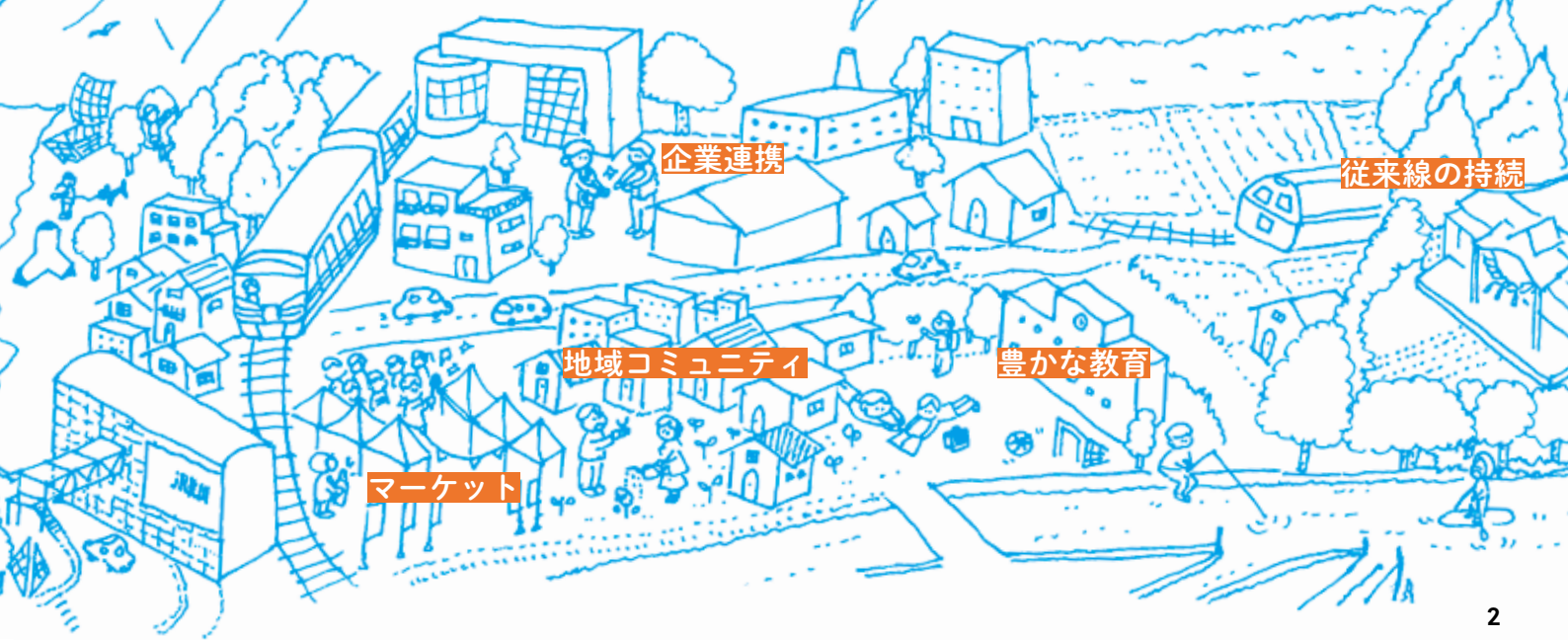
白山市の未来を6つの視点から考える

- 10 平野部と山間部のつながり
 - 11 魅力的な働く場 / 働き方
 - 12 白山自然存続な仕組み
 - 13 すべての人に隔たりのない学び
 - 14 災害時の安心対応準備
 - 15 国際的な発進と交流
-

白山市の未来を6つの視点から考える

- 18 タンキューラボ
- 20 ローカルキギョウコラボ
- 22 ジオローカルツーリズム
- 24 ハクサンスティスクール
- 26 ハクサンタクサンクリエイターズ
- 28 ライフライングリーンインフラ
- 30 ハクサングローバルキャンペーン
- 32 リゾートシェアオフィス

Future! HAKUSAN



日本三大名山「白山」、一級河川「手取川」など様々な自然が豊かな白山市。この豊かな自然を次の世代につなげていくためにも、白山市が一体となって、これからの白山市を考え、アクションしていくことが大切です。未来の白山市はどうなっていてほしいか、考えてみましょう。例えば、白山市内で企業連携が起きたり、観光に向けてよりアクティビティが充実したり…。様々な白山の未来を考えてみましょう！



白山市 SDGs 未来都市計画ってなに？

白山のめぐみを次世代におくる

日本三大名山「白山」、一級河川「手取川」など様々な自然が豊かな白山市。この豊かな自然を次の世代につなげていくためにも、白山市が一体となって、これからの白山市を考え、アクションしていくことが大切です。すべての人ができるアクションを行っていくことが持続可能な白山市をつくることにつながります。白山市 SDGs 未来都市計画は、豊かな白山のめぐみを次世代に継承していくための考え方と行動の計画です。

未来都市計画をつくるサイクルとアクション



白山市のめぐみを次世代に継承していくためには、「自然・文化資源（エコロジー）」、「地域への愛着（コミュニティ）」、「経済活動（エコノミー）」の3要素をうまくサイクル（循環）させていくことが重要です。このサイクルの考え方に基づいて、具体的なアクション（行動）を「保全」、「教育」、「持続可能な開発」、「発信」の4軸で展開し、実行していくことで未来都市計画を実現していきます。

白山未来都市計画の位置付け



第二次白山市総合計画から出てきた白山市への課題などを元に白山のあるべき姿を6つ決めました。そこから、未来都市計画のアクションプランを作成しました。

SDGs ってなんだろう？

Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際社会における共通目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを目指しています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、国だけでなく、近年では自治体による取り組みも盛んになってきています。白山市では、白山ユネスコパーク及び白山手取川ジオパークの理念と合致する SDGs の理念に基づき、山間部を拠点とし、産学官民連携のもと、環境に調和した持続可能な経済発展や豊かな生活を実現し、その成果を市全体に還元するサイクルの確立を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公平をすべての人に	17 パートナースhipで目標を達成しよう

白山市が未来都市計画に向かう上での課題

若い世代の働く場所
がないんだ！

森林の荒廃や後継問題
があるんだよねえ

いじめがあったり、子どもたちの
環境も複雑になっているんだよ

白山を横断する
交通の便が悪いのよね

白山ろくのインターネットが
整っていないなあ

除雪が大変なあ！
災害の時の対策も気になるなあ

今後の人材不足が不安…

白山のこと、世界から見ると
知らない人が多いよ！

これらの問題に対してどうしていけばいいのかな…？

魅力的な働く場／働き方

平野部と山間部のつながり

白山市の未来を
6つの
視点から考える

国際的な発進と交流

災害時の安心対応準備

すべての人に隔たりのない学び

白山の自然が続くしくみ

平野部と 山間部の つながり

SDGs 10, 11, 16

白山ろく地域生活基盤向上

定住支援

除雪負担
軽減

持続可能な移動手段の実現

コミュニティ
バスの運営
見直し

交通手段を
利用しやすい
仕組み

魅力的な 働く場と 働き方

SDGs 8, 11, 5

地元企業の活躍

中小企業の
グローバル化

観光商品
開発

女性が活躍できる場に

ワークライフ
バランスの
見直し

男女参加の
意識改革

白山の 自然が続く しくみ

SDGs 14, 15

環境保全の周知

白山の
ブランド化

環境整備

白山市をジオパークへ

市民一体と
なった
里山づくり

交通手段を
利用しやすい
仕組み

みんなに
隔たりの
ない学び

SDGs 4, 3, 10, 11, 16

生涯学習

高齢者が
活躍する

生涯学習
ネット
ワーク

地域にひらかれた教育

教育支援
センターの
設置

地域と
ともにある
学校

災害時の 安心対応 準備

SDGs 11, 13

防災に関する周知啓発

マニュアル
の作成

ハザード
マップ
づくり

消防体制の維持管理

整備の
充実

消防団の
強化

国際的な 発進と 交流

SDGs 10,11,16

観光地としての白山

観光資源の
掘り出し

観光施設の
拡充

国際的な発信

受け入れ
体制を
整える

交流のすそ
を広げる

未来に向けた
8つの
アイデア

タンキュー
ラボ

ローカル
キギョウ
コラボ

ハクサン
タクサン
クリエイターズ

ライフライン
グリーン
コミュニティ

ジオローカル
ツーリズム

ハクサン
ステイ
スクール

ハクサン
グローバル
キャンペーン

リゾート
シェア
オフィス

未来とアイデアのつながり

平野部と山間部の
つながり

魅力的な
働く場と働き方

白山の自然が
続くしくみ

ハクサン

タクサン

クリエイターズ

ローカル

キギョウ

コラボ

リゾート

シェア

オフィス

ジオ

ローカル

ツーリズム

みんなに
隔たりのない学び

災害時の
安心対応準備

国際的な
発信と交流

ハクサン
スティ
スクール

タンキュー
ラボ

ライフライン
グリーン
コミュニティ

ハクサン
グローバル
キャンペーン

タンキュー ラボ

すべての人の学びの場に

白山市で暮らす子どもや若者から高齢者にいたるまでの全ての世代の市民に対し、自分たちが暮らす地域の文化や自然の魅力や課題などを楽しんで学び探求する機会を創出します。カリキュラム自体も各地域のコミュニティが主体となって地域の文化的・地質的多様性を考慮しながらつくりあげ、地域に開かれた学びの場を多地域で展開し、それらをネットワーク化することで、地域間の学びの共有を実現します。



つながる
未来

学び

SDGs 4 10 11

タンキューラボ：アクションプラン

- ① カリキュラムづくり
- ② ラボ拠点の増加

小中学校が中心となり、カリキュラム作りを行います。また、ラボとなる拠点づくりとして白山市内の様々な場所で試験的に拠点を作りタンキューラボの展開を図ります。



2030年 GOAL



ラボ在校生 1000 人

白山市内ラボ拠点 100個

タンキューラボのアクションプラン



2019

2020

小中学生に向けた
ワークショップの開催

小中学生と一緒に
カリキュラムを作る

学びに関する組織や
活動の事例調査と
市内拠点の調査

拠点の試験利用を
様々な場所で行う

2021

2030

小中学校における
カリキュラムの実施

実際に拠点のモデル
をつくる

全ての人々が学べる
新しい仕組みの
先行事例になる

2030 GOAL

ラボ在校生 1000 人

市内各地のラボ拠点から
多世代教育コミュニティが
生まれている

2030 GOAL

白山市内ラボ拠点 100 箇所

ローカル
キギョウ
コラボ

白山市内企業連盟を

日本酒や伝統工芸品など、白山市の文化資源や自然資源をベースとした持続可能なビジネスを実践している地元企業が協働し、新しいタイアップや商品開発を行うことを通じて白山市のジオツーリズムに新しい付加価値を生み出します。また、市外の企業を含む様々な事業者と提携し、ジオパークを舞台とした地域資源のさらなる保護育成と、各地域の経済の活性化を行います。



つながる
未来 | つながり ・ 働き

SDGs 5 8 9

ローカルキギョウコラボ：アクション

- ① 企業同士のネットワークづくり
- ② プロダクト・サービス開発

白山内企業同士のつながりを強化します。また、市外からの企業も加入しやすい仕組みを作ります。このネットワークを活用して新しい白山プロダクト・サービスを作ります。



2030年 GOAL



提携企業 1000 社
プロダクト・サービス
売り上げ 10 億

ローカルキギョウコラボのアクションプラン



2019

2020

白山市ならではの
プロダクト・サービスの
事例調査

プロダクト・サービスの
発信

ジオプロダクト・サービスの
提供と企業間の
連携可能性調査

白山市内企業の
ネットワークをつくる

2021

2030

プロダクト・サービス
の新企画

プロダクト・サービスが
白山市内外の
多くの人に普及している

2030 GOAL

プロダクト売り上げ 10 億円

企業ネットワークの拡張

白山市内の企業提携モデルを
見るため全国から様々な
視察を受ける市へ

2030 GOAL

提供企業 100 社

ジオ ローカル ツーリズム

白山市一体となった観光

地域外からの来訪者が白山市において世界に類のない多様かつ固有の自然文化体験を楽しむことができるよう、地域に根ざした自然・文化遺産と関連した地質遺産の掘り起こしを行います。これらの白山市の魅力を活用したツーリストプログラムを開発することで持続可能な新しい地域観光の形態をつくり、それにともなった新たな雇用・生業を地域に生み出します。



つながる

未来

自然・働き

SDGs 14 15 17

ジオローカルツーリズム：アクションプラン

- ① ジオツアープログラム作成
- ② 発信としてのイベント開催

白山独自の自然の魅力を生かしたジオツアープログラムを発案します。また、ツアープログラムの一環として、山間部でイベントを行い多様な層に魅力が感じられる機会を創出します。



2030年 GOAL



ツアー参加者 10 万人
イベント参加人数 1 万人

ジオローカルツーリズムのアクションプラン



2019

2020

現在白山市内で行われている
ツアーをモニターする

白山市内の様々な場所を
地元の人とともに再発掘する

訪日外国人旅行者
にとって魅力的な
地域資源の調査

白山市内のお祭りとの連携

2021

2030



白山市内でツアープログラムの
実証実験を行う

地域資源を活かした
イベントを行う

白山市内で様々なツアーが行
われており、観光客自らが
選択できるようになる

2030 GOAL

ツアー参加者 10 万人

国際的な広報とともに
様々な人が白山市に
集うようになる

2030 GOAL

フェス参加者 1 万人

ハクサン スティ スクール



白山に滞在する学校

白山市が誇る自然豊かな山間部に滞在型の先進的なスクールシステムを様々な主体（県内外の大学や地域コミュニティなど）が多地域分散型で導入します。このスクールシステムは、平野部に暮らす市民に対して魅力的な子育て環境と女性の社会進出の機会を創出するだけでなく、海外からの留学生なども積極的に受け入れていくことで山間部の経済を活性化し、平野部との格差を改善します。

つながる

未来 | 学び・自然・国際

SDGs 4 10 15

ハクサンスティスクール：アクションプラン

- ① スクール教員教育
- ② シーズナルスクール運営

国際高専が運営するボーディングスクールと連携します。スクールの教員を増やし、夏冬の短期間の教育プログラムとしてのシーズンスクールを行い、参加しやすい機会を作ります。



2030年 GOAL



在校生 1000 人

技術教員 100 人

ハクサンスティスクールのアクションプラン



2019

2020

講師としてのモデルになり
うる地域人材の調査

トレーニングプログラムの
設計と試験展開

宿泊型教育施設の
他実践例調査

他の宿泊型教育施設への訪問
白山市内で活動する
大学との連携

2021

2030

トレーニングプログラムの
本格展開

シーズナルスクールの
試験運用

今後教育を施す側を増加する
ことで長期的な教育機会の
提供へ

2030 GOAL

技術教員 100 人

短い期間のプログラムを用意
することで国内外様々な人が
行き来する

2030 GOAL

在校生 100 人

ハクサン タクサン クリエイターズ



ひとが活きるまち

白山市民が行なっている地域に根ざしたクリエイター（創造的な活動を行う人）を掘り起こし、その活動を広く社会に伝え、共有することで、次世代の地域づくりやジオパークの取り組み推進に参加する活動人口を増やします。情報技術の習得や支援を推進することで、地域に根ざした市民の活動を世界に発信するとともに、市民の地域に対する愛着を高めます。

つながる
未来

つながり

SDGs 8 11 16

ハクサンタクサンクリエイターズ：アクションプラン

- ① 潜在的クリエイターの発掘
- ② 認定後の仕組み作り

白山各地で地域に根ざしたユニークな活動をする人々を発見し「ハクサンクリエイター」を認定します。またこれらクリエイターが活躍する事業や仕組みを作ります。



2030年 GOAL



認定者 1000 人

クリエイター同士のコミュニティ 100 組

認定後に副業する人 100 人

ハクサンタクサンクリエイターズのアクションプラン



2019

2020

市内のクリエイター
人材の発掘手法の検討

クリエイターの発掘と
認定に向けた調整

地域で求められている
副業人材と活躍機会の調査

副業人材の増加に
向けた基準作りや体制構築

2021

2030

クリエイター認定基準の
策定と認定の実施

運営していくコミュニティの
形成や支援企業を募集する

白山市内で活躍する人を
増やし、様々な年齢の人が
輝くまちへ

2030 GOAL

認定者 100 / クリエイター同士のコミュニティ 100 組

より長期的な活動に
なるための仕組みをつくり
自主運営できるようにする

2030 GOAL

認定後に副業する人 100 人

ライフライン グリーン コミュニティ



つながりと防災と自然

土砂崩れや豪雪などの自然環境が持つ災害によるライフラインへのリスクと、高齢者の一人暮らしなどが増加することによって進むコミュニティの脆弱化という課題に対し、地域の自然環境への理解を深め、豪雪時などの災害時に互いに安否を確認し支えあうようなコミュニティをつくります。また、この取り組みを通じて、ジオパークの自然資源を維持管理ならびに活用できるグリーンコミュニティを育成します。

つながる

未来

自然・災害

SDGs 11 15 16

- ① 防災意識の向上
- ② 緑を管理する人づくり

自然災害への防災意識とコミュニティのつながりを強化するため、ハザードマップをつくり運用する仕組みを作ります。また、ジオパークや緑を管理するコミュニティを育成します。



2030年 GOAL



ハザードマップを使った
ワークショップ参加者1万人

グリーンコミュニティ町内設置8割

ライフライングリーンコミュニティのアクションプラン



2019

2020

現状の防災意識の調査

ハザードマップを使った
ワークショップの開催

グリーンコミュニティの
現状把握

グリーンコミュニティ増加
のための仕組み作り

2021

防災情報に関する
デザインの見直し

グリーンコミュニティ増加の
ための啓蒙活動の実施

2030

白山市内の全ての人が
防災情報に通じている
ようにする

2030 GOAL

ハザードマップを使ったワークショップ参加者1万人

コミュニティが希薄化する
なかで緑を通じて老若男女
問わずつながりがあるまちへ

2030 GOAL

グリーンコミュニティ町内設置 8割

ハクサン グローバル キャンペーン



世界中から愛される白山

日本中に広がる白山信仰だけでなく、世界中に存在する白山ファンのネットワークをつくり、外からの目線と声で白山市の文化や自然の魅力を発信するキャンペーンを行います。これにより、世界から白山市への来訪者が増加するきっかけとなるだけでなく、市民の地域への愛着が増し、持続可能な地域づくりやジオパークの維持管理が可能となります。

つながる

未来

国際

SDGs 14 15 17

ハクサングローバルキャンペーン：アクションプラン

- ① ソーシャルメディアを用いた広報
- ② 海外白山ファンを見つける

ソーシャルメディアでの発信を強化し、白山の魅力を世界に広げる広報活動を行います。
また日本中と世界中にいる白山ファンを見つけ、白山ファンのネットワークを作ります。



2030年 GOAL



世界中に白山マニア 10 万人

ハクサングローバルキャンペーンのアクションプラン



2019

2020

海外に向けた
広報手法の検討

ソーシャルメディアによる
キャンペーンの企画

海外からの来訪者に対する
ニーズ調査

海外富裕層に
対するニーズ調査

2021

2030

ソーシャルメディア
キャンペーンの実施

白山の魅力を伝える
PVの作成と拡散

個々人の発信による
白山市の認知度の向上する

2030 GOAL

白山マニア 10 万人

海外の様々な場所で
白山への関心が高まり
来訪者が増加する

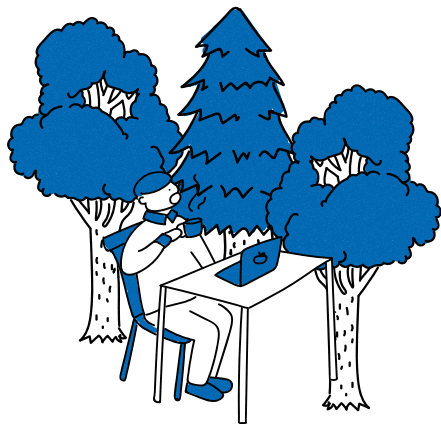
2030 GOAL

白山マニア 10 万人

リゾート シェア オフィス

山に滞在できるオフィス

白山市内外の経営者層や企業が1年の中で一定の期間を自然豊かな山間部で共に過ごし企業活動を行う新しいリゾートシェアオフィスの文化をつくります。これにより、山間部と平地部の経済格差が改善するとともに、創造性を刺激する山間部での企業活動により地域経済が活性化し、自然資源の保護につながります。



つながる

未来

働き・自然

SDGs

8 15 17

リゾートシェアオフィス：アクションプラン

- ① シェアオフィスづくり
- ② 他シェアオフィスとの連携

山間部に様々な人が共有で使うシェアオフィスを作ります。また、世界各国に広がる他シェアオフィスと連携し、白山のシェアオフィス利用者を増やします。



2030年 GOAL



オフィス利用者 1 万人

リゾートシェアオフィスのアクションプラン



2019

2020

シェアオフィスに対する
ニーズと先進事例の調査

シェアオフィスの
コンセプト設計や実施設計

海外リゾートシェアオフィスの
調査とモデルの抽出

シェアオフィスの
先進事例への訪問調査

2021

2030

シェアオフィスの設計と
既存宿泊施設などとの連携

他シェアオフィス
との連携と試験運用

シェアオフィスの
継続的運営と
白山市内での展開する

2030 GOAL

オフィス利用者1万人

白山市外からの
利用者の増加

2030 GOAL

オフィス利用者1万人

Future!
HAKUSAN

